

SDGs～持続可能な取組～



世界の貧困の問題～私たちにできること～

上北山村立上北山やまゆり学園

7年

総合的な学習の時間

めあて

世界の貧困問題の現状を知り、自分たちにできることは何かを考え、行動にうつす

【みんなのためにみんなで】

貧困問題に対して、自分たちに何ができるのかを考えました。数ある取組の中で、個人でも簡単に取り組むことができるものもあるということを知ってもらうためにも、この取組を選びました。貧困問題の現状を知ることで、自分たちの生活は当たり前のことではないということにも気付くことができたと思います。

○指導計画

- ・世界の貧困の現状について、インターネットや本を使って調べ学習を行いました。また、特に気になったことや疑問に思ったことについて、コロンビア人（英語教諭の知人）に生徒自身が自ら英文でメールを作成し、インタビューをしました。
- ・自分たちに何ができるかを考え、「古着deワクチン」という取組を学校全体で行いました。
- ・活動内容についてまとめたパンフレットを作成し、全校集会で呼びかけました。
- ・一か月程度の古着回収期間を設定し、学校で古着を回収しました。
- ・3学期に行われる学習発表会で、一連の取組について保護者と全校児童生徒の前で発表します。



○生徒の感想

現在はコロナ禍で、生活が大変な人が多いですが、コロナウイルスが流行する前から生活していくことが厳しい人がいるということを今回の学習をして初めて知りました。次に機会があれば、規模を大きくしてやってみたいです。

○成果と課題

世界の貧困問題についての関心を高めることができました。また、全校に呼びかけたことで、多くの人に取組を知ってもらうことができました。